

琵琶湖文化館の機能継承のあり方の検討について

(1) 概要

休館中の琵琶湖文化館の機能については、平成 23 年度の近江の仏教美術等魅力発信検討委員会報告書において「近代美術館に継承することが望ましい」とされ、新生美術館基本計画(平成 25 年 12 月)に盛り込まれた。

しかしながら、新生美術館基本計画については見直すこととなり、平成 23 年度の報告以降、文化財を巡る社会情勢についても大きな変化がみられることから、今年度は、「琵琶湖文化館機能継承検討懇話会」を設置し、琵琶湖文化館の機能継承のあり方について再検討を行う。

(2) 検討事項

①琵琶湖文化館の機能

平成 23 年度の委員会報告書でまとめられた、琵琶湖文化館の機能を継承する「『別の展示保存施設』に求められる機能」を再検証し、本来あるべき機能について検討する。

②琵琶湖文化館の立地および施設整備案

①の機能を満たす案について、法令面、技術面からの実現可能性を検証するとともに、費用面および効果面から評価し、より望ましい案を検討する。

(3) 検討の視点

上記の検討にあたっては、以下の社会情勢の変化等を踏まえたものとする。

- 日本遺産の認定
 - ・「琵琶湖とその水辺景観―祈りと暮らしの水遺産」(平成 27 年 4 月 24 日)
 - ・「1300 年つづく日本の終活の旅 ～西国三十三所観音巡礼～」(令和元年 5 月 20 日)
- 文化財保護法の改正 (H31. 4. 1 施行)
 - ・地域における文化財の総合的な保存・活用(総合的な施策の大綱の策定等)
 - ・個々の文化財の確実な継承に向けた保存活用制度の見直し(保存活用計画の作成等)
- その他
 - ・人口減少、自然災害の増加等に起因する文化財の寄託・寄贈件数の増加
 - ・インバウンドの増

等

(4) 検討スケジュール(予定)

令和元年	7 月 5 日	第 1 回懇話会
	8 月 23 日	第 2 回懇話会
	10 月	第 3 回懇話会
	11 月	第 4 回懇話会
	12 月	第 5 回懇話会 機能継承方針(素案)
		県民・関係者への意見照会
令和 2 年	2 月	機能継承方針(最終案)
令和 2 年度		新生美術館基本計画の見直し

(5) 懇話会委員

裏面のとおり

琵琶湖文化館機能継承検討懇話会委員

氏名	役職等	備考・経歴等
イグマ ヤスコ 伊熊 泰子	(株)新潮社「芸術新潮」編集部	・滋賀県文化審議会委員
イシマル ショウウン 石丸 正運	美術史家・名都美術館館長	<ul style="list-style-type: none"> ・元近代美術館館長 ・元琵琶湖文化館館長 ・滋賀県立近代美術館機能・発信力強化検討委員会委員 ・近江の仏教美術等魅力発信検討委員会委員 ・新生美術館基本計画検討委員会委員 ・新生美術館基本計画検討懇話会委員
オカダ シュウジ 岡田 修二	成安造形大学学長	・新生美術館整備推進専門家会議委員
サウ ユウコ 佐藤 祐子	(株)国華荘代表取締役社長	・みんなで創る美術館円卓会議委員
タカナシ ジュン ジ 高梨 純次	公益財団法人秀明文化財団参事 (MIHO MUSEUM 研究・展示担当)	<ul style="list-style-type: none"> ・元琵琶湖文化館学芸員 ・元近代美術館学芸課長 ・新生美術館基本計画検討委員会専門部会委員
ネダチ ケンスケ 根立 研介	京都大学大学院文学研究科 京都大学文学部 教授	<ul style="list-style-type: none"> ・近江の仏教美術等魅力発信検討委員会委員 ・県文化財保護審議会委員
フケ トシユキ 福家 俊彦	園城寺(三井寺)執事長	・滋賀県文化財保護連盟役員
フジタ レイオ 藤田 励夫	文化庁文化財第一課主任文化財 調査官(書跡・典籍、古文書)	・元県文化財保護課職員